令和８年度　清滝小学校　学校経営方針

学校教育目標

「ふるさとを愛し 未来を切り拓く子の育成」

～ 肯定的な関わりの中から 非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに ～

めざす児童像

・「在りたい自分」としてありのままの自分を大切にし、自分の良さや可能性を伸ばせる子
・ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを語ることができる子
・思いやりの心と感謝を持ち、共に高め合う子
・健やかな体と強い心を持ち、最後までやり抜く子

めざす学校像

・常に前向きで、生き生きと活気に満ちた学校
・子どもたち一人ひとりを大切にし、心の居場所がある学校
・保護者・地域と共に歩み、開かれた信頼される学校
・子どもたちが安心・安全に生活できる学校

めざす教職員像

・分かる喜びと学ぶ楽しさのある魅力ある授業づくり・学級づくりができる教職員
・子どもに寄り添い、喜びや悲しみを共有できる教職員
・自主性、同僚性、協働性を大切にしチーム清滝として高め合う教職員

具体的な取組

１　非認知能力の向上

・夢や目標を持ち、自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながる力を高める。
・人権教育、児童会活動、体験活動を充実させ、思いやりや感謝の気持ちを育む。
・基本的生活習慣の確立に向けて家庭との連携を強化し、自律する力を育む。

２　ふるさと教育の充実と地域との連携

・体験活動や地域との交流を通して、ふるさとの良さを知り、ふるさとを誇りに思う気持ちを育む。
・コミュニティスクールをはじめ、地域との連携を強化し、地域と共にある学校づくりを推進する。
・オープンスクール、各種通信、ホームページなど、積極的に情報発信を行う。

３　特別支援教育の充実

・「支援のいらない子は一人もいない」を基本理念として、子どもへの寄り添いの質を高める。
・子どもの教育的ニーズを正確に把握し、個に応じたきめ細やかな指導・支援の充実を図る。
・全教職員での組織的な支援体制の確立を図ると共に、関係機関との連携を強化する。

４　教職員の専門性の向上

・校内研修を活性化させ、教職員同士が主体的に学び、高め合う教職員集団を組織する。
・授業における５つの「徹底・継続」実践事項の深化を図り、深い学びに向けた授業づくりを推進する。
・教職員としてのライフステージを意識した実践的指導力とマネジメント力の向上を図る。

５　働きがいのある職場づくり

・教職員のウェルビーイングを目指し、仕事に誇りと熱意を持てる職場づくりを行う。
・全教職員で子どもを育てる意識を高め、子どもの成長を喜び合える「働きがい」ある職場づくりを行う。
・教職員のワークライフバランスを意識した「働きやすい」職場環境づくりに取り組む。